



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「㊟つくくまわりを ㊟がおてあいさつを ㊟ちんとくつならべ」

令和6年度 第6号
熊本市立植木小学校
令和6年4月25日
校長 東田 昌樹

あいさつは人間関係づくりのスタートです。

学級懇談会のアンケートで、一人の保護者の方から次のようなご意見をいただきました。

- 旗当番で立っていた時ですが、こちらから『おはようございます』と言っても挨拶をしない子が結構多いと感じました。特に上級生の女の子です。

とてもありがたいご意見です。

ほぼ毎朝、私は校門の前に立って5年目になります。毎朝、登校してくる子どもたち、地域の方々にあいさつをしています。あいさつをしながら校門に子どもたちが安全に入ってこられるように交通整理をしています。

確かに、昨年度の終わりに比べて子どもたちのあいさつはよくありません。実は、4月当初は毎年度そうです。4月の子どもたちのあいさつはよくありません。

「私は子どもたちとの人間関係づくりができていないから、子どもたちのあいさつはよくなるのだ」と思います。あいさつは人間関係づくりのスタートです。

校門前のあいさつは、大まかに次のようなステップととらえています。

■ステップ1

【大人】 一人一人顔を見ながら、笑顔であいさつする。

【子ども】 スルーする。小さな声。顔を見ない。

■ステップ2

【大人】 一人一人顔を見ながら、笑顔であいさつする。

【子ども】 あいさつを返す。声が出てくる。笑顔が出てくる。

■ステップ3

【子ども】 先にあいさつする。笑顔。声ははっきり出る。

【大人】 一人一人顔を見ながら笑顔であいさつを返す。



「ステップ1」として、まずは、大人の方からあいさつをするようにします。集団に向かってまとめてあいさつするのではなく、一人一人にあいさつをするようにしています。その際、笑顔であいさつすることを心がけています。

子どもたちの中にはだまってスルーする子もいます。聞こえるか聞こえないかという小さな声の子もいます。視線が合わない子もいます。私は「こんなものだろうな」と思います。「子どもたちと私の人間関係ができていないんだ」と思います。しかし、中には上級生を中心に、4月の段階からすでに自分から笑顔であいさつする子もいます。

同じ学級懇談会のアンケートで、次のような声もありました。

- すれ違う生徒や子供のお友達が 元気よく挨拶をしていて 素敵だと思いました。学校での教育が生かされていることを実感した。

- 子どもたちがちゃんと大きな声で挨拶をしてくれて気持ちよかった。

4月も終わりになり、スルーして通過していた1年生から「おはようございます」という声が聞かれるようになりました。1年生は私に対して「誰？この人？」だったのが、「校長先生！」と認識してもらっているのだと思います。

そのうち自然と「ステップ2」に入っていきます。子どもたちから笑顔でのあいさつが出てくるようになります。声も大きくなってきます。ちなみに、全体として、週の半ばで疲れてくるのでしょうか、水曜日あたりにあいさつの元気がなくなる傾向にあります。

そして、そのうち自分からすすんであいさつをする子どもがだんだん増えてきます。子どもたちは「先取りあいさつ」と言っています。「ステップ3」です。

「ステップ3」になると、子どもたちとの人間関係ができたことを感じます。